

事務事業名	選挙啓発事務				担当	総務部 監査・選管 選挙管理委員会	
政策名	H	施策体系外			電話番号	0285-83-8190(内線3201)	
施策名	1	施策体系外の事業			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	選挙をきれいにする国民運動推進要綱					<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 昭和50 年度~)	
予算科目	1.一般会計	2.総務費	4選挙費	4選挙費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~ 年度)	
事業概要	選挙啓発事業は、一人でも多くの有権者が投票に参加し、きれいな選挙が行われること、又一人ひとりが政治認識を深め、政治に対する意識の向上を目指すことを目的に進めている。 事業内容・市内小中学校への啓発用のポスターの募集・選挙をきれいにする推進運動として啓発紙「芳賀の白ばら」の発行・明るい選挙推進大会の開催						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動) 23年度実績 選挙啓発ポスターの募集とコンクールへの応募、「芳賀の白ばら」のチラシの作成。新成人者へのチラシの配布等を実施した。啓発用チラシを区長町会長会議時に配布、啓発紙「選挙のはなし」を「明るい選挙」推進員に配布。 24年度計画 23年度に同じ。	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移								
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)		
ア	ポスターコンクール応募件数	件	79	103	109	90			
イ	啓発紙芳賀の白バラの作成部数	部	19000	23500	23500	23400			
ウ	新成人者への啓発チラシ配布部数	部	750	740	740	923			
エ									
オ									
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民 有権者	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移								
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)		
ア	市民の数	人	63276	82997	82584	82126			
イ	有権者数	人	50933	63976	63976	63340			
ウ									
エ									
オ									
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 明るい選挙を目指し、政治に対する意識の啓発を図る	⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)		
ア	衆議院議員総選挙 投票率	%		69.69					
イ	参議院議員通常選挙 投票率	%			57.35				
ウ	栃木県知事選挙 投票率	%	31.35						
エ	市長選挙 投票率	%		66.10					
オ	市議会議員選挙 投票率	%		77.29		58.33			
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 明るい選挙の実現	⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移								
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)		
ア	衆議院議員総選挙 投票者	人		44582					
イ	参議院議員通常選挙 投票者	人			36666				
ウ	栃木県知事選挙 投票者	人	22566						
エ	市長選挙 投票者	人		41784					
オ	市議会議員選挙 投票者	人		10143		36945			
(2) 総事業費の推移									
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	
			一般財源	千円	362	438	546	383	0
			事業費計(A)	千円	362	438	546	383	0
人件費	正規職員従事人数	人	3	4	4	4	0		
	延べ業務時間	時間	76	76	76	76	0		
	人件費計(B)	千円	318	308	324	322	0		
トータルコスト(A)+(B)			千円	680	746	870	705	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いったいどんな経緯で開始されたのか?	選挙をきれいにする国民運動推進の展開
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	若年層の投票率が低い。
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	若年層の投票率が低いので、より多くの若者に政治に関心をもち投票に参加してもらいたい。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 明るい選挙の実現に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 一人でも多くの有権者が、投票に参加し、きれいな選挙が行われること、又一人ひとりが政治認識を深め、政治に対する意識の向上を目指すため。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 明るいきれいな選挙を目指し、政治に対する意識の啓発を図る。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 啓発活動を十分行っているが、事業成果がすぐに投票率向上に結びつくとは言えない。今後も継続して啓発を行っていく。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 選挙啓発は必要なため、廃止できない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？ ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 選挙啓発に必要な最小限の費用であり、削減は出来ない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 選挙啓発に必要な最小限の人件費であり、削減は出来ない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							